

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	福井県民生活共同組合	代表者	松宮幹雄	法人・事業所の特徴	県民せいきょうの福祉理念『あなたらしさいつまでも』と、新しい行動指針5ヶ条を念頭に、ご利用者、ご家族、地域住民の幸福度を高められるよう真摯に向きあっています。また、次年度より外国人技能実習生を受け入れにあたり、改めて各職員が基本に立ち返り、ご利用者の自立支援を行っています。
事業所名	県民せいきょう 小規模多機能ホーム 勝山きらめきハウス	管理者	笠川明美		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	人	人	4人	人	人	2人	人	人	人	6人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	<ul style="list-style-type: none"> 在宅での自立支援につながるように ADL 状態も細かくアセスメントする。 担当利用者の定期的なミーティングの継続と軒下マップ（本人の地域との関係性を図式化したもの）を活用する。 	<ul style="list-style-type: none"> 担当利用者の定期的なミーティングが実施され、それぞれに発言が出来、計画の見直しが出来ている。軒下マップの記載が少ないため活用につながらなかった。（ミーティング時にはそれぞれが得た情報を共有していたが軒下マップに記録として残せていない。） 	<ul style="list-style-type: none"> 全体的に新型コロナウイルスの影響で本来ならできていたのだろうと思うことができない状況にあることをどう評価するか迷った。 	<ul style="list-style-type: none"> 利用者様の出来る事、○○の手助けがあれば出来そうな事を日々の関わりのなかで拾い上げ、自立（自律）に向けた支援を行う。 小規模多機能型居宅介護計画の見直し時期に合わせ、軒下マップを活用する。 地域包括主催の研修、認知症実践者研修等、介護に関する研修に参加する。
B. 事業所のしつらえ・環境	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルスの状況は来年度も変わらないと思われる。その中で法人内にて協議しながら地域の方が安心して来訪出来る施設にしていく。 	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染対策により事業所の集会室の利用の中止が継続しており、地域との交流が現在もできていない。 	<ul style="list-style-type: none"> 事業所外には不快な音や臭いはない。 	<ul style="list-style-type: none"> ウィズコロナを想定した行動を行う。 事業所内の感染対策の継続と6S（整理・整頓・清掃・清潔・躰・接遇）で地域の方が安心して来訪、相談に訪れる施設にしていく。

<p>C. 事業所と地域のかかわり</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染対策を行い今後もきらめきとして何か地域のお役立ちが出来ないか考えていく。 ・壮年会、長寿会、子供会の行事や小中学校の資源回収のお手伝い等、地域との関わりを深める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍でも少しずつ地区の行事が行われるようになり、感染対策を考慮しながら参加できるようになった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・元町 2 丁目の行事をよく理解して参加していただいています。 ・元町 2 丁目のふれあいサロンに参加できています。 ・コロナ禍では色々な取り組みが難しいと思います。 	<ul style="list-style-type: none"> ・感染対策を行いながら今後も地区行事の各会の集まりや行事への参加を継続する。 ・外国人技能実習生受け入れの理解と協力を得ていく。
<p>D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・民生委員の参加は継続を依頼し、今後は地区社協担当者(必要な利用者)にも参加を依頼する。 ・自助の確認をしていく。 ・独居の方の地区の回覧板の確認をする。(年間、月間の行事の確認が出来る) 	<ul style="list-style-type: none"> ・独居利用者の民生委員に担当者会議に参加して頂き、緊急時の対応や屋根雪の除雪等話し合うことが出来ている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の方を交えた会議が行われているかどうかは不明である。 ・以前は近所の心配な方に対して声かけなど聞くことがあったが現在は不明である。 ・地区社協担当者の参加や回覧板の確認が出来ていますか。 ・長期間にわたってコロナ禍が蔓延している現状下では積極的に地域とかかわっていきにくいことと理解しています。 ・コロナ禍の中、野菜作りやお出かけ、イベントなど楽しみをもった取り組みをされていると感じられます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・独居・高齢者世帯の緊急キットを更新する。 ・地域資源の把握と活用(軒したマップに記載)を行う。 ・地域見守り登録の利用と地域の方の理解と協力を得ていく。 ・近隣住民の方の困りごとや不安が無いか、日々の過ごし方を気にかけて様子を見ていく。
<p>E. 運営推進会議を活かした取組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・法人内で協議し多目的室の利用の再開、又は他の場所を検討し、新型コロナウイルス感染対策を考慮しながら会議の開催を行っていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・2021年度、前半は感染対策を考慮しながら会議を開催する事ができ地域や包括の方から意見や色々な情報を共有することができましたが、後半になり感染者数が増加し会議が出来ず書面での報告となってしまった。外部評価も直接意見を頂く事ができなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍で地域の行事や活動そのものが制約されていて地域との接触が少ないので致し方ないと思われる。 ・聞くことが主になり具体的な取り組みや事例検討が自分ではできていないと感じています。個人情報等もあり難しい面もあると思います。 	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染の状況の変化にかかわらず定期的に会議を開催できるよう、オンライン等 ICT が活用できる環境を整備します。

<p>F. 事業所の 防災・災害対策</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地区の防災訓練の開催有無を確認する。 ・元町地区の福祉避難所を担える対策の検討を継続。(緊急時を想定した対応、職員体制の確保、個別の支援内容等) 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の防災訓練は今年度も中止になった。 ・施設内での避難訓練は行えている。(2回/年6月・11月) ・会議時に開催のお知らせはできているが他地区行事などとの重なりがないかの確認はできていなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所の訓練の日と独居の方の弁当配達と重なり参加できなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・災害(豪雪)による被害や感染症発生によるサービス提供困難等を想定した業務継続計画(BCP)を作成する。 ・地域全体での防災訓練の開催を実現する。
----------------------------	--	---	--	--